

## 吹奏楽コンクール「金賞」「県代表」をめざして

### 1. 3年前からの意識（新入生の入部時点が大切）

○1年生の楽器担当は、生徒の意見を尊重しながらも、教師が主導で決定する。

- ・オーボエは絶対音感が必要
- ・フルート、クラリネット、アルトサックスはピアノやエレクトーン等を習っていることが条件
- ・出歯生徒は、フルートは厳禁
- ・T pは精神的に強い、唇が薄い、筋力のある生徒
- ・T u b、E u pは唇が厚い生徒
- ・P e rにも優秀な生徒を
- ・上学年とのバランスを考えた配置

○吹奏楽部は集団競技の運動部という意識の醸成

### 2. 予選通過や県大会で金賞を取るための必要条件と考えていること

○楽器らしい音質

- ・練習の50%は音作り
- ・ロングトーンは16拍以上のもの

○演奏法の統一

- ・フレージング、音色の統一
- ・音型、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどアーティキュレーションの統一

○音程が合っていること（最近では基礎の一つとなっている）

- ・生徒自身に音感を付ける（柔らかい頭の中学生に音程を合わす楽譜練習）
- ・一人一人離れての、チューナー・マイクを使用したロングトーン
- ・歌唱練習や楽譜を歌っての練習も効果がある。

○バランスと曲の完成度

### 3. 選曲について

○現在の各楽器の状況により選曲が大切

- ・したい曲とできる曲とは別
- ・予選通過をねらうか、県大会で金賞をねらうか、県代表をねらうかで選曲は異なる
- ・特に小編成では効果的な曲が重要
- ・トランスものは評価が厳しい。（プロオケの審査員は原曲のイメージがある）

○高印象を得るために

- ・ソロや長い主旋律を演奏する生徒はそのバンドの最高優秀生徒と見られる
- ・大編成でも小編成でもピカッと輝くソロが必要、その数が多いと高得点になるようだ。

### 4. 打楽器の調整—プロの打楽器奏者にとってそれぞれの打楽器も子どもや孫

○ハリの無いヘッドは音質が悪い（最低限度の交換）

○ヘッドのバランス（B DもS n Dも）

○T i m pは2日前に、ねじで調律する

- ・運搬すればずれる
- ・放置しておけばずれる。
- ・使用すれば伸びるしハリもねじれる

○正しい持ち方や正しい奏法

- ・タンバリンやトライアングル、スレイスベルなども
- ・錆びた楽器や傷んだ楽器は禁物

○見た目綺麗な楽器

- ・日常の整備（シンバル、グロッケンも練習後はしっかり油で軽く拭くクセづくり）
- ・滑車に注油など（舞台での移動で、きしむ音は厳禁）

○学校によっては質の悪い楽器しかない場合、他校や一般バンドから借用することも

- ・W i S Hは運搬等の経費を負担される場合、東近江地域の学校には貸出可

## 5. 体調管理とイメトレ

○大会3～4日前は曲づくりの合奏でなく、本番で活かせる練習、出来ないところは隠す練習を優先

○本番時間に体調的にも精神的にもピークに想定した練習

- ・金管、特にペットの唇をつぶさない
- ・できない所を不安にしない、出来るところを名演奏させる（数ヶ月の練習で出来ないところは、2～3日で出来ない）

○舞台を想定した練習

- ・打楽器の搬入練習も演奏の練習
- ・入場姿勢や着席、楽器を上げる練習

○当日演奏に今までの練習の成果を活かせる練習、集中力をあげる練習

○演奏当日のその時間に一番よい演奏ができるように、体力温存も必要

## 6. 曲づくりに時間を割けば音質は落ちる

○合奏はできるだけ早い時期から開始して、曲づくりは3日前には終了する。

- ・3日前にはロングトーンの時間を増やし音質を回復する
- ・コンクールで曲想は抜群だが、音質がよく無ければ金賞はない。

## 7. 詰め練習

○経験者、専門的な講師等人の指導をお願いする。

- ・セクション、パート、同楽譜部分練習の充実

○音程を合わす練習を充実する（音感ない指導者は他力を考える）ピッチが合わなければ金賞はない

○バランス（金賞の原則）を考える。

- ・打楽器と管楽器のバランス
- ・ホール練習は効果は大きい（予算的には困難）
- ・体育館か他の場所で、他人に聴いて貰う
- ・ハーモニーのバランス

## 8. 士気を高める

○スポーツの円陣を組んで氣勢をあげる練習。当日チューニング室で円陣を組んで氣勢をあげることを想定しての練習。（適度に興奮させてステージで怯まないためには有効）

○出来ていなくても前日は嘘でも誉め、当日は、調子がよさそうやなど嘘でも誉める。

## 9. 日頃から生徒個々の音楽力を高めること

○近隣で開催されるプロの演奏会に聞きに行くことを生徒に勧める（高校吹奏楽部や優秀な一般バンドの演奏会含）

## 10. おまけ

○舞台への打楽器搬入時に、生徒に白手袋させ楽器を大切にしているところを見せる等

○くじ運での対処

- ・出演1番で金賞は難しい（基準にされ6, 7が付く）
- ・出演が早ければ、当日の朝が早く体調が崩れ、充実した演奏ができない、出演が遅すぎると練習に体力を使い果たす（生徒ではコントロールできない）
- ・当日の出演時間を想定して一週間前ぐらいから早朝からの練習や午後からの練習を行い体調を慣れさせることも必要）

○栄養補給（精神力・体力も大切、腹が減っては戦はできぬ）

- ・当日おにぎり一個又は補助食品を持参し、演奏の相当時間に合わせて食させる等（出番が早く早朝集合の場合ではバスの中でも）

とにかく、生徒に夢を与えるために、できることから少しでも参考にしてください。